



Woman's Career

STANLEY



キャリアアップと家庭生活の両立を目指して



スタンレー電気に入社後、結婚、出産、育児という大きなライフイベントを経験しながら、着実にキャリアを積み重ねる土谷さん。「パソコンの前で黙々と作業を続けるよりも、外に出て人と会ったり話したりするほうが合っている」と語る彼女に、仕事も家庭も大切に女性の働き方について、話してもらいました。

土谷 麻依子 光科学部光応用システム学科→2004年スタンレー電気株式会社入社→マーケティングセンター 商品企画チーム 係長 ライティングコーディネーター

※所属は2019年取材当時のものです

入社～現在まで！ 営業職で培ったお客様との信頼関係

学生時代に光通信を専攻していたので、メーカーに就職して技術系の仕事をしたいと考えていました。ところが研修後に配属されたのは、照明分野の営業部門。「なぜ私が営業を？」と思いながらも、上司と二人で新規事業のCCFL照明製品の立ち上げと拡販に携わりました。やがてLEDの性能が上がってくると、会社もLED照明を新たな事業として力を入れ、LED照明事業推進室が立ち上がり、私もそちらに異動しました。照明器具を扱うメーカーや商社、デザイナーの方などを主なお客様として、おつきあいを続けるうちに信頼関係も生まれ、営業職のやりがいを感じる機会も増えました。もともと私は接客業のアルバイト経験もあり、人と会って話すことが好きなんです。約10年照明関係の営業に携わった後、産休・育休を経て復帰した現在の仕事は、顧客、市場動向から新製品を生み出す商品企画です。まだ知識不足を感じることもありますが、困った時には以前のお客様にお話を伺いに行ったり、製品を製造する事業部や研究所の意見を聞いたり、さまざまな場面でこれまでの人とのつながりや経験を活かしています。



ワークライフバランス！ 職場の理解と協力に助けられて

営業職の時は、お客様と仲良くなって、注文を取れた時が最も充実感がありました。ただ照明関係の仕事は夜の確認作業が多く、出張なども頻繁だったので、妊娠がわかってからは上司に相談して負担を減らしてもらい、調子の悪い時は無理せず休むようにしました。産休は基本的には予定日の6週間前からですが、体調に不安があったので、年休を使ってさらに2週間早く休みを取らせてもらいました。職場復帰の時は、育児をしながら以前と同じ働き方はできないだろうと思っていたところ、マーケティングセンターに異動という辞令を受けました。特に希望を出したわけではありませんが、時短勤務で働きやすい職場で働けるようにと配慮してくれたのだと思います。今、同じ部署に時短で働いているママ仲間が他に2人いて、とても心強いです。子供が急に熱を出して休まなければいけない時なども、職場の皆さんの理解と協力に助けられています。



最近、アクセサリ作りにはまり、子供が寝たあとなどに合間を見て作っています。同じ素材を使い、娘のヘアゴムと私のイヤリングをお揃いにしました。



休日は夫婦で同じ日なので、家族そろって外出することが多いです。散歩、公園、ショッピングなど、親子コーデでお出かけを楽しんでいます。



Career & Life History

〈キャリアステップ〉	年	〈ライフイベント〉
入社、研修	2004	
AP事業部	2005	
まだLEDの明るさが十分でなかった頃、長寿命で明るい光源として使われたCCFL照明の営業活動に従事。	2006	
	2007	
	2008	
LED照明事業推進室	2009	2014年 結婚
LEDの性能向上と普及に伴い、事業拡大を図って新設された部署でLED照明の営業活動に従事。	2010	パートナーもスタンレー電気の子社員。休暇を取って新婚旅行へ
	2011	2015年10月～2016年2月 産前産後休暇
照明応用事業部	2012	産休に入る時に一番つらかったのは、それまでつながりを作ってきたお客様を、誰かに引き継がなければならぬということでした
照明関係部門の組織統合。営業活動に従事し、商品企画に関わる若手チームのリーダー役も務める。	2013	
チャージ休暇	2014	2015年12月 出産
勤続10年のチャージ休暇制度(1カ月)を活用。シンガポールとラスベガスへ行き、その後札幌の実家でのんびりとリフレッシュ。	2015	女性には出産や育児でどうしてもプランクができてしまいますが、子供を育てながら管理者としてキャリアを積んでいる先輩もいます。本人の努力と周囲の協力で、プランクは埋められると思います
	2016	2016年2月～2017年3月 育児休暇
	2017	産休・育休中はママ友ができたり、保育園の見学をたくさんしたり、楽しい時間を過ごせました
マーケティングセンター	2017	2017年4月 職場復帰
2017年4月に職場復帰。主に照明製品の商品企画および社内向け市場情報の配信に従事。	2018	平日は17時まで勤務して、保育園へお迎えに。夫の帰宅が早い時は、夕食後に子供をお風呂に入れてもらったりしています。休日は家族で出かけることが多いですね
	2019	2019年3月～6月 産前産後休暇
		2019年6月 出産
		2019年6月～ 育児休暇

今後の目標へ！ 子供にとって最高の母親であり続けたい

会社としての制度が整っていて、時短や休みが取りやすいこと、さらに保育園の理解もあって、今は仕事と家庭生活が両立できていると思います。これからの目標は、まずは子供にとって最高の母親であり続けること。キャリアとして上を目指していきたい気持ちはありつつ、家庭は犠牲にしたいくないので、それがどういうバランスで成り立つのかはまだ未知の部分であり、悩ましいところ。ただ社内には、大学生くらいのお子さんがいながら女性管理職として活躍されている方がいるので、私もそこを目指すべきところなのかな、という思いも生まれています。当社には女性が長く安心して働き続けられる環境があり、さまざまな制度がどんどん良い方向に変わってきていると感じます。また、最初に考えていた仕事と違う職種に就いても、後になってそれが自分に合っていたのではないかなと思えることもあります。この業界も意外に女性が働きやすい、というのが私の実感です。皆さんも視野を広くもって就職活動に臨んでください。



自らの提案を実現し、 会社に貢献していきたい



**研究開発センター
光源グループ**で次世代の
白色LEDの開発に携わる
鈴木さんは、研究開発者として
失敗を繰り返しながらも高いモチベーション
を保ち、仕事に向き合っています。
技術者として早く
立ち立ちをし大きな成果
を出すことを目指している
姿を追いしました。

鈴木 愛里紗 理工学研究科 物質応用化学専攻→2020年スタンレー電気株式会社入社→研究開発センター 光源グループ

※所属は2022年取材当時のものです

学生時代！ 化学に興味を持ち学び続けた学生時代

中学生の時、化学の授業を通してわからないことを実験で確かめる面白さに気づき、それ以来理系の道を志すようになりました。その後も思いは変わらず高校時代も理系コースを選択し、大学・大学院では化学科に進学。研究室ではプラズマ材料(金属のナノ粒子が特有の現象を発現する総称)のバイオ応用についての研究を行いました。具体的に言うと、金属のナノ粒子を使ってがん細胞を死滅させるための研究に取り組みました。就職を考える時期になって、学生時代の研究内容が活かせる「光化学」に関する研究を行っている企業を対象に、バイオテクノロジーに限らず幅広い視野を持って就職活動を行いました。その中で、スタンレー電気が私の専門分野であるプラズマナノ粒子の研究で成果を發揮していることを知り、学んだ知識やスキルが活かされると考え志望しました。また、自宅から通勤可能な場所に研究所があることや、選考中の社員の人の温かい対応にも惹かれて、一緒に働きたいと強く思いました。緊張のなか最終面接が終了して1週間後、合格の連絡をいただいて喜びを感じ、入社を決めました。



通勤時間中はタブレットで読書をしています。ビジネス書が中心ですが、資格取得の勉強にも役立っています。

入社～ 配属まで

技術者として知識と理解を深めていく



入社して最初の研修は、コロナ禍ということもありオンラインで行いました。研修では社会人の基礎としてマナーや一般常識などを学びました。その後は、浜松製作所での工場実習と照明応用事業部での営業実習にそれぞれ参加しました。工場実習では生産ラインに入って、ものづくりの現場を体験しました。それまで工場は機械だけで製品を生産するイメージがありましたが、手作業で部品を組み立てるのを初めて目にして、その緻密さや大変さがわかりました。また、営業実習では先輩社員と一緒にお客様や社内他部署との打合せに参加し、議事録作成などの業務を通じて製品開発の流れを学びました。実習では対話の中でニーズをくみ取ることの難しさを体感しました。その後、研究開発センター光源グループで研修を行いました。組織としての全体像や、どのようなミッションを担っているかについての理解の他、先輩の補助業務を行って、取り組んでいる研究テーマについての知識を習得しました。研修先では狭角白色光源の開発によってヘッドランプの光利用効率の向上・小型化を目指しており、蛍光体上に形成される、金属ナノ粒子の形状と狭角性の関係を調査しました。配属後の現在は技術者として日々の仕事に精一杯励んでいます。

コロナウイルスの感染状況が落ち着いている時に、会社の同期とディズニーランドに行った時のショット。楽しい1日を過ごしました。



日頃から健康管理機能とタイマー機能を愛用しています。長時間座っている時は動くように指示してくれる、頼りになる存在です。



現在の 仕事

次世代の白色LED の開発に携わる

研究開発センターは30年後を見据え、社会をよりよくする新技術を研究し生み出す部署です。私が所属する光源グループは、当社製品のもとになる要素技術を生み出し、新たな価値を付与した光源を創り出すことをミッションとしています。その中で私は、ヘッドランプの光利用効率向上を見据えた、次世代の白色LEDの開発に携わっています。白色LEDは、青色LEDと青色光を吸収し黄色に発光する蛍光体による構成が主流で、ここで得られた光をレンズに集光させて光を取り出します。LEDは「広がり」のある光であるため「狭角」に発光することができれば、小さなレンズでもより多くの光を集光させることができます。これにより光利用効率が高まり省エネにもつながりますし、光源の小型化により空いたスペースにセンサー類を搭載できるなど、車の高機能化にも貢献することができます。しかし、前例のないものをつくり出す仕事は難しく毎日が失敗の連続です。心が折れそうな時もありますが、モチベーションを保ちながらひたむきに努力を続け、まわりの人たちの協力やサポートを得て乗り越えています。そのため、成果につながる研究結果を出せた時や、一つのテーマを任されて研究が前進した時には、大きなやりがいを感じます。

わたしの1日！

- 9:00 出勤** ●メールチェックを行います。その後実験に必要なものや使用する薬品等を外部業者に発注するための事務的作業を行います。
- 10:00 実験準備～実験** ●LEDの研究と一口にいっても細かくテーマが分かれていて、私はLEDと蛍光体を接合する方法を検討しています。その接合する表面基盤を作成し確認を行います。
- 12:00 お昼休み** ●お弁当を作って持って行くことが多いですが、社員食堂で食べることもあります。
- 13:00 チームミーティング** ●各人が研究の進捗状況を報告し、チーム全体で情報を共有します。チームで仕事を進めていく上では情報を的確に把握しておく必要があり、遅れがあるような時は、自分の担当テーマでなくても補助に入って実験を進めていくこともあります。
- 15:00 実験準備～実験** ●午前中に作成した基盤の表面に、どれくらい膜厚のものが成膜できたかを測定します。想定した数値になるまで、何度も調整を繰り返し測定します。
- 17:30 実験データのまとめ** ●今日行った実験・測定結果を画像データとしてまとめます。ミーティングの時には、このデータを活用してわかりやすい文章を付けて資料を作成します。
- 18:00 退勤**



成果を生み出し、長く働きたい



今までは先輩の手を借りることもありましたが、今後は技術者として早く独り立ちして一連の業務を一人でできるようになり、大きな成果を生み出していくことが目標です。自ら提案し、新規の研究テーマを立ち上げて実現を目指していくことで会社に貢献していきたいため、普段の生活の中で「こういうものがあれば、生活がもっと豊かになるのでは」と考えることを意識しています。

社会人になるまでは技術者という仕事は時間が不規則なイメージがあって、長く働けることが想像できませんでした。しかし、実際に入社して働き始めてみると、周りには産休育休を取得後に職場復帰を果たして活躍している先輩社員の方々がいて、技術者として働き続けるイメージが湧いてきました。フレックスタイム制を利用して、自分でスケジュールをうまく調整して働いている先輩も多く、ワーク・ライフ・バランスが充実した環境だと実感しています。私も技術者として仕事をしていく中で、たくさんの成果を出し活躍していきたいと思っています。

研究では微細なものを扱うことが多く、手で触れることはできないのでピンセット類は必携しています。



学生の皆さんへ!

自分の「軸」を明確にして、大切な就職活動に臨んでください

学生時代の学びを活かせる環境があります

学生時代の研究は時間が決められていない場合が多かったのですが、私は時間を決めて進める方が好きできちんと予定を立てて行っていました。社会人になると仕事は決められた時間内にこなさなければならず、学生時代に身に付けたスケジュール通りに遂行する力を活かすことができます。また、私が所属していた研究室はディスカッションの機会が多く、実験結果をわかりやすく発表したり、そのための資料を作成したりするスキルが、現在の仕事においても役立っています。

就職活動を機に、今後のライフプランについて考える方も多いと思います。人それぞれにやりたいことや大事なことがあると思うので、この機会に悔いのないように、自分にとって何が一番大切なのか「軸」を明確にして、最適な企業を見つけられるように願っています。それがスタンレー電気ならば、お会いできることを楽しみにしています。

「光で日常をより良くしたい」という思いが成長へとつながる

地道にコツコツと研究を続けられること、一方で、ディスカッションから案が生まれることも多いので人とコミュニケーションをとるのが好きなこと。この両面でメリハリをつけて仕事を進めていける人は、当社の研究開発職に向いていると思います。「光で日常をより良くしたい」という思いがあれば、きっと当社で成長できるはずですよ。



スタンレー電気株式会社が考える女性社員の未来と制度



心身共にリフレッシュし
創造性の高い仕事を
行うことができると好評!!

キャリア支援制度ではないけれど…
社員にリフレッシュしてもらうために

こんな制度もあります!!

チャージ休暇制度

勤続5、15、25...年 → 1週間の休暇 + 5万円支給
勤続10、20、30...年 → 1ヶ月の休暇 + 20万円支給

スタンレー電気の主なキャリア支援制度

産前・産後休暇制度

育児休暇制度……最大2歳まで
育児時短勤務制度……短縮時間は最大3時間、期間は小学校3年生修了まで、勤務形態はフレックスタイム制(コア有)
育児看護休暇制度……期間は小学校3年生修了まで
介護休業制度……要介護者1名につきそれぞれ通年1年を限度

社員の生活プランに合った働き方を選べるよう制度を整備

今日の日本は共働き世帯が当たり前になっている一方で、働く女性のキャリア形成に必要な社会的な諸制度・政策は未だ国の理想と大きなギャップを抱えている印象があります。そのため、行政に代わり会社が社員の生活を支援し、キャリア形成を助けていく必要があります。また、今やそれは当たり前のようになくてはならないものとなっています。

当社では、多様な価値観、個性を有する社員が活躍することによって、企業としての価値を高めていかなければならない中で、女性の活躍を推進していくことが非常に重要だと考えています。しかし、まだまだ結婚・出産を機にキャリアを中断してしまう女性が多いのが今の日本社会の現状です。当社のキャリア支援制度は、出産休暇はもちろん、女性に限った制度ではありませんが、育児時短勤務(最大3時間短縮可能)は最大小学校3年生修了時まで利用できるなど、子育て世代のキャリア中断抑制に力を入れています。また、時短勤務中のフレックスタイム制も導入しており、より社員の生活プランに合った働き方を選べるよう制度を整備しています。

社員のキャリア形成のサポートは、これで完成という形はないと思います。今後も社会情勢等に合せて、柔軟に支援制度等を拡充していく予定です。



スタンレー電気株式会社

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13

TEL:0120-522-840(フリーダイヤル)

<http://www.stanley.co.jp/>